



PARASOPHIA: 京都国際現代芸術祭2015 オープンリサーチプログラム04 開催のお知らせ

オープンリサーチプログラム【対談】

ダイアローグ——蔡國強×浅田彰

「PARASOPHIA: 京都国際現代芸術祭2015」オープンリサーチプログラムの第4回目として、北京オリンピック開会式の花火の演出や、火薬で描く「火薬絵画」など、ダイナミックな作品制作で世界的に知られる現代美術家、蔡國強（ツァイ・グオチャン）氏と、批評家の浅田彰氏をお迎えし、対談を行います。

蔡氏は、1986年から1995年まで日本に滞在し、福島県いわき市や広島市で発表を行うほか、1994年には京都市役所前にて「長安からのお祝い——平安建都1200年のためのプロジェクト」を発表するなど、京都にも縁ある作家です。今回の対談では、長年親交の深い浅田氏とともに、蔡氏が近年取り組んでいるプロジェクトを中心にお話を伺います。

つきましては、広くご周知にご協力賜りますようお願い申し上げます。なお、当日の取材も受け付けております。下記までお問合せください。

開催概要

タイトル	PARASOPHIA: 京都国際現代芸術祭2015 オープンリサーチプログラム【対談】 「ダイアローグ——蔡國強×浅田彰」
日時	2013年10月14日（月・祝） 15:00-17:00（14:30開場）
会場	京都造形芸術大学 人間館1階 ギャラリー・オーブ 〒602-8580 京都市左京区北白川瓜生山2-116 ※京都市バス3、5、204系統「上終町京都造形芸大前」下車すぐ
料金	無料（申込不要）
定員	200名
言語	日本語
主催	京都国際現代芸術祭組織委員会、一般社団法人京都経済同友会、京都府、京都市
共催	京都造形芸術大学
協力	京都造形芸術大学大学院学術研究センター
後援	国際交流基金

広報に関するお問合せ | 京都国際現代芸術祭組織委員会事務局（PARASOPHIA事務局）

E-mail: press@parasophia.jp TEL: 075-257-1453 FAX: 075-257-1454 URL: www.parasophia.jp

〒604-8152 京都市中京区烏丸通蛸薬師下ル手洗水町645 flowing KARASUMA 2階

■ 登壇者プロフィール

蔡國強 Cai Guo-Qiang

現代美術家

中国生まれ、ニューヨーク在住。

北京オリンピック開会式の花火の演出や、世界三大発明の一つである火薬で描く「火薬絵画」など、ダイナミックな作品制作で世界的に知られる。1986年から1995年まで日本に滞在し、1994年には京都市役所前のプロジェクト

「長安からのお祝い——平安建都1200年のためのプロジェクト」で平安建都1200年記念事業に参加。2007年に第7回ヒロシマ賞、2012年に第24回高松宮殿下記念世界文化賞を受賞した。中国の農民が知的な好奇心と衝動によって、日常生活の材料だけで製作したロボットや潜水艦、飛べない飛行機などを、十年近く費やして収集するプロジェクト「農民ダ・ヴィンチ」が今、ブラジルの三都市を巡回している。

ウェブサイト: www.caiguoqiang.com



Photo by Joana França

蔡國強「農民ダ・ヴィンチ」 2013
サンパウロ、ブラジル銀行文化センター屋外での展示風景



Photo by Joana França

蔡國強「農民ダ・ヴィンチ」2013
サンパウロ、ブラジル銀行文化センター
吳玉祿によるロボットファクトリーの展示
の一部
「アクションペインティングをするジャクソン・ポロック」、「しゃがんでいるジャクソン・ポロック」ロボットと蔡國強



Photo by Masanobu Moriyama, courtesy Cai Studio

蔡國強「長安からのお祝い——平安建都
1200年のためのプロジェクト」1994
京都市役所前

浅田彰 Akira Asada

京都造形芸術大学大学院学術研究センター所長／批評家

京都大学経済学部卒業。京都大学経済研究所准教授、京都造形芸術大学大学院長を経て、京都造形芸術大学大学院学術研究センター所長に就任。哲学・思想史のみならず、美術、建築、音楽、舞踊、映画、文学ほか多種多様な分野において批評活動を展開。主な著書に『構造と力 記号論を超えて』（勁草書房、1983）、『逃走論 スキゾ・キッズの冒険』（筑摩書房、1984）、『ヘルメスの音楽』（筑摩書房、1992）、『映画の世紀末』（新潮社、2000）、『20世紀文化の臨界』（青土社、2000）など多数。「Realkyoto」(<http://realkyoto.jp/>)にブログ連載中。

広報に関するお問合せ | 京都国際現代芸術祭組織委員会事務局（PARASOPHIA事務局）

E-mail: press@parasophia.jp TEL: 075-257-1453 FAX: 075-257-1454 URL: www.parasophia.jp

〒604-8152 京都市中京区烏丸通蛸薬師下ル手洗水町645 flowing KARASUMA 2階



PARASOPHIAについて

「PARASOPHIA: 京都国際現代芸術祭2015」は、京都国際現代芸術祭組織委員会、京都経済同友会、京都府、京都市が主催する国際展です。2015年3月上旬から5月上旬にかけて京都市美術館、京都府京都文化博物館ほか京都府、京都市の関連施設等で開催予定。

公式ウェブサイト www.parasophia.jp

名 称	PARASOPHIA: 京都国際現代芸術祭2015
会 期	2015年3月上旬から5月上旬
会 場	京都市美術館、京都府京都文化博物館ほか府・市関連施設など
アーティスティック ディレクター	河本信治（元・京都国立近代美術館学芸課長）
概算事業費	4億5千万円（2013～2015年度の総額）
目標入場者数	25万人
主 催	京都国際現代芸術祭組織委員会、一般社団法人京都経済同友会、京都府、京都市
後 援	国際交流基金
認 定	公益社団法人企業メセナ協議会

（2013.09.05現在）

オープンリサーチプログラムとは

アーティスティックディレクターとキュレトリアルチームが、PARASOPHIA: 京都国際現代芸術祭2015に向けて行う調査研究のプロセスを広く一般に公開し共有するためのプログラムです。

- 01 **【レクチャー】リビット水田堯「猫と犬のように——映画とカタストロフ」**
日時：2013年6月21日 会場：京都府京都文化博物館 別館ホール
- 02 **【報告会】田中功起+蔵屋美香「抽象的に話すこと——ヴェネツィア・ビエンナーレに参加して」**
日時：2013年7月27日 会場：同志社大学今出川キャンパス 良心館
- 03 **【レクチャー】ドミニク・ゴンザレス＝フォルステル**
日時：2013年9月6日 会場：京都府京都文化博物館 別館ホール
- 04 **【対談】ダイアローグ——蔡國強×浅田彰**
日時：2013年10月14日 会場：京都造形芸術大学 人間館1階 ギャラリー・オーブ

Kyoto
International
Festival
of
Contemporary
Culture

PARASOPHIA

PARASOPHIA: 京都国際現代芸術祭 2015

会期：2015年3月上旬～5月上旬
会場：京都市美術館、京都府京都文化博物館ほか府・市関連施設など
アーティスティックディレクター：河本信治（元・京都国立近代美術館学芸課長）
主催：京都国際現代芸術祭組織委員会、一般社団法人京都経済同友会、
京都府、京都市
後援：国際交流基金
認定：公益社団法人企業メセナ協議会

オープンリサーチプログラムとは：アーティスティックディレクターとキュレ
トリアルチームが、「PARASOPHIA: 京都国際現代芸術祭2015」に向けて行
う調査研究のプロセスを広く一般に公開し共有するためのプログラムです。
2013年6月……[レクチャー]リビット水田堯「猫と犬のように一映画とカストロフ」
2013年7月……[報告会]田中功起＋蔵屋美香「抽象的に話すこと—
ヴェネツィア・ビエンナーレに参加して」
2013年9月……[レクチャー]ドミニク・ゴンザレス＝フォレストル
2013年10月……[対談]ダイアログ—蔡國強×浅田彰

PARASOPHIA: 京都国際現代芸術祭 2015
オープンリサーチプログラム……[対談]

ダイアログ 蔡國強×浅田彰

2013年10月14日(月・祝) 午後3時～午後5時(2時30分開場)

会場：京都造形芸術大学 人間館1階ギャルリ・オーブ

〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-1116 京都市バス3-5-204系統「上終町京都造形芸大前」下車すぐ

*入場無料・申込不要・定員200名

主催：京都国際現代芸術祭組織委員会、一般社団法人京都経済同友会、京都府、京都市
共催：京都造形芸術大学 協力：京都造形芸術大学大学院学術研究センター 後援：国際交流基金
お問合せ：京都国際現代芸術祭組織委員会事務局 (PARASOPHIA事務局) TEL: 075-257-1453
e-mail: info@parasophia.jp www.parasophia.jp



PARASOPHIA
京都国際現代芸術祭 2015
オープンリサーチプログラム

04

Cai Guo-Qiang on site Kyoto for Peasant Da Vinci, 2010. Photo by Lin-yi courtesy Cai Studio

Cai Guo-Qiang × Akira Asada

Installation view of Cai Guo-Qiang: Da Vinci do Povo
in the street outside Centro Cultural Banco do Brasil, São Paulo, 2013
Photo by Joana França

蔡国强 Cai Guo-Qiang (現代美術家)：中国生まれ、ニューヨーク在住。北京オリンピック開会式の花火の演出や、世界三大発明の一つである火薬で描く「火薬絵画」など、ダイナミックな作品制作で世界的に知られる。1986年から1995年まで日本に滞在し、1994年には京都市役所前で「長安からのお祝い——平安建都1200年のためのプロジェクト」を行う。2007年に第7回ロシマ賞、2012年に第24回高松宮殿下記念世界文化賞を受賞した。中国の農民が知的好奇心と衝動によって、日常生活の材料だけで製作したロボットや潜水艦、飛べない飛行機などを、十年近く費やして収集するプロジェクト「農民ダ・ヴィンチ」が今、世界各地を巡回している。

浅田 彰 Akira Asada (京都造形芸術大学大学院学術研究センター所長／地球学)：京都大学経済学部卒業。京都大学経済研究所准教授、京都造形芸術大学大学院院長を経て、同大学大学院学術研究センター所長に就任。哲学思想史のみならず、美術、建築、音楽、舞踊、映画、文学はか多岐多様な分野において批評活動を展開。主な著書に『構造と力』（勁草書房、1983）、「逃走論」（勁草書房、1984）、「ヘルメスの音楽」（勁草書房、1992）、「映画の世紀末」（新報社、2000）、「20世紀文化の境界」（青土社、2000）など多数。

「REALKYOTO」(<http://realkyoto.jp/>)にブログ連載中

PARASOPHIA
京都国際現代芸術祭 2015
オープンハリーサーチャイログラム

04